

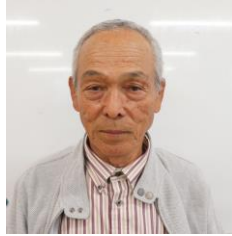
橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ①⑥

橘町HP <https://tachibana-net.jp> [歴史・史跡](#) クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和5年10月1日
責任者：國平 安治
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は
南檜崎区長 溝上正義さん



クイズ

●神武天皇は何代目？

新しい遺跡

こうじょまがき じんむ
孝女 籬 と神武

てんのうしゃ
天皇社 (南檜崎)

●孝女★①と籬(まがき)★②って、なかなか聞かんことばヤケンネ。昔★③、檜崎★④に、とんでもなかごと親孝行の娘さんがおんさって、上の方からたいそうほめられんさった★⑤って、聞いと～バイ。

●こんお人は、どがんでん貧しか家に生まれんさったと。ばってんが、両親ともが呑み助じゃったもんやけん、こまか時から、親のお世話バして大変苦労★⑥しんさったテ。

●そして、大きゅうなって結婚話があつたときも、その話は断わってデン、両親は世話しんしゃったテ。

●神武天皇社★⑦は、初代天皇★⑧の神武天皇バまつ祀ってあると。

●2つとも南檜崎の中でも南の方★⑩にあ～バイ。まがきの碑は個人の土地の中やケン、見学は、事前に連絡して。

★印番号の解説

★①孝女って？

辞書で調べると「孝行な娘」って書いてあるよ。親孝行って自分の親を大切にすることだね。



★②籬(まがき)さんはだれ？

これも辞書で調べると「籬は竹や柴で作られた垣根を意味する」と書いてあるよ。ここでは、女性の名前だけだね。写真はまがきさんの記念碑だよ。



★③昔っていつの頃の話？

江戸時代の文化年間(1804～1817)と言うから、今から220年くらい前の話だね

★⑤上の方ってだれ？ 【注 ★④は裏面】



朝廷のイメージ

1814年に朝廷(天皇の政治機関)が全国の孝行な人などを表彰したのだ。檜崎の娘は大変な孝行娘だったから、鍋島の殿様からもほめられたのだ。

★⑥どんな苦労？

親は小作人(田んぼを持たないので人の田んぼを借りて作る)。だがそろって酒好きで貧乏暮らし。ある時母親が病気になってその看病もせねばならん。結婚話も断って両親のために過酷な労働に耐え親に尽くしたそうじゃ。本にもなっておる。

★⑦神武天皇社

みなみならさき てい きゅうけんどう ま
南檜崎バス停の所から北へ旧県道に曲がると、左側
ひろば の中 に 写真 の よう な 記念碑 が 建て ら れ て い る
ぞ。 明治時代 になっ て 建 立 さ れ た 新 し い 碑 じゃ。



神武天皇イメージ



神武天皇碑

★⑧初代天皇ニクイズの答え

ワシは、九州から東へ遠征しての。大変な苦勞をして
日本国を建国したのじゃ。古事記や日本書紀（神話を
含む日本の歴史書）に初代天皇と書かれとる。
だかの、10代の崇神天皇以降の王を実在とする
学者が多いのじゃ。わしゃ くやしいのう！

★⑩遺跡
の位置

孝女籬の碑
神武天皇碑



★④江戸時代の檜崎はどこの領地？ (今日の う・ん・ち・く)

ならさき しはい
檜崎の支配
者を年表に
すると右図
黄色のよう
になります。

なが せつめい
流れを説明
すると

	1185	1336	1493	1573	1603		1687	1868
時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	戦国時代	安土 室山	江戸時代		明治時代
支配者	荘園 一時運筆王院	橋氏	橋氏 (後渋江氏と改名)	日 鼓 城 の 悲 劇	潮 見 城 落 城 後 藤 氏	鍋 島 本 藩	芦原領	明治政府
出来事		1237 橋氏が長島庄		1527 日鼓城の悲劇	1563 潮見城落城	1603 鍋島本藩	1687 永池ため池築造	

- ①もともとは、橋氏 (改姓して渋江氏) が支配していた。
- ②戦国時代、後藤貴明の先代純明 (渋江公勢の長子だが後藤へ養子に行っていた) が、若木の日鼓城を攻めて、渋江公親・公師親子を追い出した。(8月号参照)
- ③純明の所に養子にきた後藤貴明が、龍造寺隆信の支配下に入ったので、白石南郷領になった。
- ④隆信が島原で戦死したので、江戸初期には跡を継いだ鍋島の本藩領となった。
- ⑤1687年、北方にある永池ため池を造ったとき、永池は芦原領だったので本藩領の南檜崎などと芦原領の永池などを交換したので、檜崎は芦原領になった。

(今月号は郷土史橋町史跡巡りより資料を収集しました)

今回のご紹介した遺跡は『江戸以降』のものでした 注) 下表の年代は諸説あります

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代以降
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤書は橋町	草場・おつぼ山第1水門・南檜崎遺跡。 若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サヌカイト	市場・下貝原・釈迦寺遺跡等の遺物。市内200力以上。阿舍利・橋原遺跡(山内)	小橋-みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、市内100力以上。東宮裾遺跡	町内遺跡の鏡、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・林副(墨書土器)ドウザマ墓地 立石と官道小野原遺跡 武雄温泉 広福寺仏像向野須恵器窯跡(北方)郡衙施設	長嶋庄成立橋町条里制庄の前遺跡 おつぼ山経塚長島庄が蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、各地の経塚、佐賀県最古の文書(実検状)軟喜寺薬師如来像	潮見城跡と館跡、潮見川流域・馬場・立岩等の中世遺跡、潮見川開削と河童壺石、渋江・中村・中橋氏館跡 源頼朝御教書塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、潮見落城と鉄砲・丹宗堀塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が渋江攻略、肥前古窯跡と古武雄	三法方郷(橋は本藩・蓮池・後藤領) 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道上野本寮・皿山窯跡、籬南部系窯跡後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱